

教科	数学	科目	数学 I	講座	1 年	種別	必修
単位数	3	教科書	改訂版 新編 数学 I (数研出版)				
副教材	改訂版 Study - Up ノート 数学 I + A (数研出版)						
授業形態	講義及び演習						
科目の目標	数と式、集合と命題、2次関数、図形と計量、データの分析について理解し、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を育てるとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識できるようにする。						
身に付けてほしい学力	1 計算力を身に付け、見通しを立てて処理し、事象を数学的に考察できるようになる。 2 データを読み取り、論拠に基づき判断することができるようになる。						
学習計画	単元			学習のあらまし			
	【1学期】 第1章 数と式 第2章 集合と命題 第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 第2節 2次関数の値の変化 【2学期】 第3節 2次方程式と2次不等式 第4章 図形と計量 第5章 データの分析 まとめ取り方式での履修となるため、12月以降は数学Aを履修する。			<ul style="list-style-type: none"> ・式の展開、因数分解、根号を含む式の計算、1次不等式を中心に学習する。 ・集合や命題を通して、数学的に表現する美しさを学ぶ。 ・中学校で学習した2次関数のグラフをさらに発展させる。 ・グラフを視覚的に利用して、2次関数の最大、最小を求める問題を理解する。 ・2次不等式の様々な解き方を理解する。 ・応用的な問題に対して、演習を習熟する。 ・三角比を利用して、様々な図形の問題を考察する。 ・重要な定理や公式を学び、活用できるようにする。 ・データを分析する際に必要となる基本的事項と分析方法を学習する。 			
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方		数学的な技能		知識・理解	
	数学的な活動を通して、数と式、2次関数、図形と計量、データの分析における考え方に関心を持ち、数学的な見方や考え方を養い、それらを事象の考察に活用しようとする。	2次関数の最大・最小の問題等に対して、事象を論理的に考察するとともに、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に捉えることができる。		集合と命題、図形と計量等の問題に対して、的確に表現し処理する能力を高めるとともに、推論の方法を身に付け、よりよく問題を解決することができる。		高校の数学を学習する上で必要となる基本的な概念、原理・法則、用語・記号等を理解し、基礎的な知識を身に付けている。	
上記の観点を踏まえ、①定期考査 ②課題等の提出物 ③授業への参加意欲等を総合的に判断し、評価する。							
学習のアドバイス	1 授業の例題を十分に理解した上で、演習問題を解き、内容を深化させてください。 2 授業等で連絡する宿題や課題等は必ず提出してください。						
その他	基礎から模試対応まで幅広く学習します。						

教科	数学	科目	数学Ⅱ		講座	2年A講座	種別	必修
単位数	4	教科書	改訂版 新編 数学Ⅱ (数研出版)					
副教材	改訂版 Study-Up ノート 数学Ⅱ+B (数研出版)							
授業形態	講義、演習							
科目の目標	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分法と積分法の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を育てる。							
身に付けてほしい学力	<ol style="list-style-type: none"> 1 直線や円などを、座標平面を用いて図形的に考察できるようになる。 2 複素数や三角・指数・対数関数、微分法・積分法について理解し、活用できるようになる。 							
学習計画	単元				学習のあらまし			
	【1学期】 第1章 式と証明 第4章 三角関数 【2学期】 第2章 複素数と方程式 第5章 指数関数と対数関数 第6章 微分法と積分法 【3学期】 第3章 図形と方程式				<ul style="list-style-type: none"> ・式と計算、等式・不等式の証明について学習する。 ・三角関数について学習する。 ・複素数と2次方程式の解、高次方程式について学習する。 ・指数関数と対数関数について学習する。 ・微分係数と導関数、関数の値の変化や積分法について学習する。 ・円の方程式、点の軌跡、不等式の表す領域について学習する。 			
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解				
	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えにおける考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基いて判断しようとする。	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えにおいて、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えにおいて、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えにおける基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。				
上記の観点を踏まえ、①定期考査 ②実技試験 ③提出物 ④授業態度 を総合的に判断して評価する。								
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> 1 休まずに授業に出席する。 2 必ず復習を行い、課題を提出する。 3 基本問題を何度も演習し、学習内容の定着を図る。 4 学期末にノート提出があるので、日頃からノートの整理をしっかりと行うこと。 							
その他	特になし							

教科	数学	科目	数学Ⅱ		講座	2年B講座	種別	必修
単位数	2	教科書	改訂版 新編 数学Ⅱ (数研出版)					
副教材	改訂版 Study-Up ノート数学Ⅱ (数研出版)							
授業形態	講義、演習							
科目の目標	式と計算、等式・不等式の証明、複素数と2次方程式の解、高次方程式、点と直線、円、奇跡と領域の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てる。							
身に付けてほしい学力	1 論拠に基づき説明することができるようになる。 2 いろいろな関数の基本的な性質を理解し、活用できるようになる。							
学習計画	単元				学習のあらまし			
	【1学期】 第1章 式と計算 第2章 等式・不等式の証明 【2学期】 第3章 複素数と2次方程式の解 第4章 高次方程式 第5章 点と直線 【3学期】 第6章 円 第7章 軌跡と領域				・3次式の因数分解について学習する。 ・恒等式について学習する。 ・等式・不等式の証明について学ぶ。 ・複素数とその計算、解と係数の関係について学ぶ。 ・剰余の定理、因数定理について学ぶ。 ・直線状の点、直線の方程式について学ぶ。 ・円の方程式、円と直線について学ぶ。 ・軌跡と方程式、不等式の表す領域について学ぶ。			
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解				
	いろいろな式、図形と方程式、指数関数や対数関数及び三角関数の考え方に関心を持つとともに、数学の良さを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な思考に基づいて判断しようとする。	いろいろな式、図形と方程式、指数関数や対数関数及び三角関数の考えについて、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返って多面的・発展的に考えたりする活動などを通して数学的な見方や考え方を身に付けている。	いろいろな式、図形と方程式、指数関数や対数関数及び三角関数の考えについて、事象を数学的に表現、処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	いろいろな式、図形と方程式、指数関数や対数関数及び三角関数の考えにおける基本的な概念、原理や法則を体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。				
上記の観点を踏まえ、①定期考査 ②平常点(提出物、授業態度等)を総合的に判断して評価する。								
学習のアドバイス	1 数学の得意・不得意は問題ではありませんが、宿題や提出物は必ず出すようにしてください。 2 授業は聞くことを第一としてください。板書をとることも大切ですが、しっかりと話を聞くことは、より大切です。							
その他	特になし。							

教科	数学	科目	数学Ⅱ		講座	3年B講座	種別	必修
単位数	2	教科書	改訂版 新編 数学Ⅱ (数研出版)					
副教材	Study - Up ノート 数学Ⅱ (数研出版)							
授業形態	講義及び演習							
科目の目標	三角関数、指数関数と対数関数及び微分法と積分法の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を育てる。							
身に付けてほしい学力	1 三角関数、指数関数と対数関数の基本的な問題を解くことができるようになる。 2 微分法と積分法について、増減表やグラフを活用して、極値、面積を求めることができるようになる。							
学習計画	単元				学習のあらまし			
	【1学期】 第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理 第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数 対数とその性質 対数関数 【2学期】 常用対数 第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化 【3学期】 第3節 積分法				・弧度法と度数法の関係を理解し、角を拡張する。 ・加法定理、2倍角の公式、半角の公式を学習する。 ・三角関数の合成を理解する。 ・指数の四則演算について学習する。 ・指数関数の最大値と最小値の求め方について理解する。 ・対数の基本的な性質を学習する。 ・対数関数の最大値と最小値の求め方について理解する。 ・3次関数の極値の求め方について理解し、最大値と最小値を求める問題に応用する。 ・面積を求める問題において、定積分の考え方を利用することを理解する。			
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解				
	三角関数、指数関数と対数関数及び微分・積分の考えにおける考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。	三角関数、指数関数と対数関数及び微分・積分の考えにおいて、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	三角関数、指数関数と対数関数及び微分・積分の考えにおいて、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	三角関数、指数関数と対数関数及び微分・積分の考えにおける基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。				
上記の観点を踏まえ、①定期考査 ②課題等の提出物 ③授業への参加意欲等を総合的に判断し、評価する。								
学習のアドバイス	1 授業での例題を十分に理解して、演習問題をその場その場で消化する。 2 家庭学習で復習を重ね、学習内容の定着を図る。							
その他	特になし							

教科	数学	科目	数学A		講座	1年	種別	必修
単位数	2	教科書	改訂版 新編 数学A (数研出版)					
副教材	改訂版 Study-Up ノート 数学 I + A (数研出版)							
授業形態	講義、演習							
科目の目標	場合の数と確率、図形の性質、整数の性質について理解し、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を育てる。							
身に付けてほしい学力	1 場合の数や確率の基本的な考え方を理解し、それらを事項の考察に活用できるようになる。 2 平面図形や整数の基本的な性質について理解し、活用できるようになる。							
学習計画	単元				学習のあらまし			
	【3学期】 第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 第2節 確率 第2章 図形の性質 第1節 平面図形 第2節 空間図形 第3章 整数の性質 第1節 約数と倍数 第2節 ユークリッドの互除法 第3節 整数の性質の活用				<ul style="list-style-type: none"> ・中学校での内容を踏まえ、場合の数、確率の考え方を復習する。 ・順列、組合せについて演習を通して学習し、それらを活用して、場合の数、確率の問題を解く。 ・三角形や円の性質について学習し、図形を用いた問題の解き方について考察する。また、空間図形の基本的な性質について学習する。 ・整数の性質について学習する。 ・ユークリッドの互除法について学習し、具体例からその原理を考察する。 ・n進法について学習する。 			
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解				
	場合の数と確率、図形の性質または整数の性質における考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基いて判断しようとする。	場合の数と確率、図形の性質または整数の性質において、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返りすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	場合の数と確率、図形の性質または整数の性質において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	場合の数と確率、図形の性質または整数の性質における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。				
	上記の観点を踏まえ、①定期考査 ②実技試験 ③提出物 ④授業態度 を総合的に判断して評価する。							
学習のアドバイス	1 休まずに授業に出席する。 2 必ず復習を行い、課題を提出する。 3 基本問題を何度も演習し、学習内容の定着を図る。 4 学期末にノート提出があるので、日頃からノートの整理をしっかりと行うこと。							
その他	基礎から模試対応まで幅広く学ぶ。							

教科	数学	科目	数学B	講座	2年A講座	種別	必修
単位数	2	教科書	改訂版 新編 数学B (数研出版)				
副教材	改訂版 Study-Up ノート 数学Ⅱ+B (数研出版)						
授業形態	講義、演習						
科目の目標	ベクトル、数列又は確率分布と統計的な推測について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。						
身に付けてほしい学力	1 ベクトルの概念を理解し、活用できるようになる。 2 様々な数列の解法を理解し、自ら判断し解を導くことができるようになる。						
学習計画	単元			学習のあらまし			
	【1学期】 第1章 平面上のベクトル 【2学期】 第2章 空間のベクトル 第3章 数列 第1節 等差数列と等比数列 【3学期】 第2節 いろいろな数列 第3節 数学的帰納法			<ul style="list-style-type: none"> ・ベクトルの具体的な活用法を示しつつ学習する。 ・空間ベクトルは、平面ベクトルの延長上の内容であることを示しつつ学習する。 ・数の並びから法則を発見し、式で表す。 ・2学期より複雑な数列を扱い、法則を式で示す。 ・数学的帰納法で式や様々な事柄を証明する。 			
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方		数学的な技能	知識・理解		
	ベクトル、数列又は確率分布と統計的な推測に関心を持つとともに、それら的事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、ベクトル、数列又は確率分布と統計的な推測における数学的な見方や考え方を身に付けている。		ベクトル、数列又は確率分布と統計的な推測において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	ベクトル、数列又は確率分布と統計的な推測における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。		
上記の観点を踏まえ、①定期考査 ②平常点 (提出物、授業態度等) を総合的に判断して評価する。							
学習のアドバイス	1 じっくり考えることが非常に重要な科目です。粘り強く考えるようにしましょう。 2 一般的 (文字を含めて) に考えるのが難しい場合、1つ1つ具体的に考えるようにしましょう。 3 具体的に考えづらい部分があるので、わかりにくいところは何度も質問してください。						
その他	模試や試験等にしっかりと対応できる内容を学習する。進学希望者向け。						

教科	数学	科目	数学探究 I	講座	3年A講座	種別	選択
単位数	4	教科書	自作教科書（愛媛県立今治西高等学校伯方分校）				
副教材	特になし						
授業形態	講義及び演習						
科目の目標	数と式、2次関数、図形と計量、データの分析、場合の数と確率、図形の性質、整数の性質、式と証明、複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、微分法と積分法、平面上のベクトル、空間のベクトル、数列に関する基本的な概念や原理・法則などについて系統的な理解を深める。						
身に付けてほしい学力	1 基本的な計算力を身につけ、複雑な式を変形し考察できるようになる。 2 論拠を明らかにしながら、適切に解を導くことができるようになる。						
学習計画	単元			学習のあらまし			
	【1学期】 数と式、2次関数 図形と計量、データの分析 場合の数と確率、図形の性質 【2学期】 整数の性質 式と証明、複素数と方程式 図形と方程式、三角関数 指数関数と対数関数 微分法と積分法 平面上のベクトル 【3学期】 空間のベクトル、数列			<ul style="list-style-type: none"> 問題演習を通し、数学Ⅰ・Aの内容を復習する。 様々な探究的な問題の考察を通して、数学的な見方を高める。 センター試験の難易度、時間配分等に慣れるため、実践的な演習問題を解く。 問題演習を通し、数学ⅡBの内容を復習する。 様々な探究的な問題、応用的な問題の考察を通して、数学に対する奥義を追究し、数学的な思考力を高める。 センター試験の難易度、時間配分等に慣れるため、実践的な演習問題を解く。 			
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方		数学的な技能		知識・理解	
	数学的な活動を通して、数学的な見方や考え方の良さを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	事象を数学的に捉え、論理的に考えるとともに、思考の過程を振り返り、多面的、発展的に考えることができる。		表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、よりよく問題を解決することができる。		基本的な概念、原理や法則、用語や記号等を理解し、基礎的な知識を身に付けている。	
上記の観点を踏まえ、①定期考査 ②平常点（提出物等）③小テスト ④授業への参加意欲等を総合的に判断し、評価する。							
学習のアドバイス	1 演習問題と小テストに積極的に取り組んでください。 2 わからない問題もそのままにせず、十分に考えて解く習慣を身に付けましょう。 3 よく復習を行ってください。 4 授業で分からなかったところは、必ず質問し、解消してください。						
その他	共通テストなどのマーク形式の模試・試験対策を主とする。						

教科	数学	科目	数学探究Ⅱ	講座	3年CD講座	種別	必修
単位数	2	教科書	自作教科書（愛媛県立今治西高等学校伯方分校）				
副教材	特になし						
授業形態	講義及び演習						
科目の目標	基本的な算数・数学の計算の問題、関数の問題、図形の問題について理解し、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数理的に考察し処理する能力を育てるとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識できるようにする。						
身に付けてほしい学力	1 基本的な計算力を身に付け、日常生活に役立てることができるようになる。 2 関数の問題や図形の問題に対して、論理的に考察ができるようになる。						
学習計画	単元			学習のあらまし			
	【1学期】 比と歩合 数と式の計算 1次方程式 1次関数 2次方程式 【2学期】 不等式 三角比と三角関数 指数関数と対数関数 微分と積分 場合の数と確率 【3学期】 図形 数列			・比と歩合の考え方を利用して、長さや割合を求める方法を復習する。 ・基本的な文字式の計算、式の展開、因数分解、根号を含む式の計算等を復習する。 ・1次関数のグラフを理解する。 ・2次方程式の解の公式を復習する。 ・1次不等式、2次不等式を復習する。 ・正弦定理、余弦定理を復習する。 ・指数と対数の基本性質を理解する。 ・基本的な計算方法を理解する。 ・順列、組合せ、確率を復習する。 ・角の大きさ、辺の長さ、面積を求める問題を理解する。 ・数の規則性を把握する。			
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解			
	数学的な活動を通して、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。	関数の問題、図形の問題、推論の問題に対して、事象を数的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	様々な演習問題を解く際に、事象を数的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	各学習単元の基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。			
	上記の観点を踏まえ、①定期考査 ②課題等の提出物 ③授業への参加意欲等を総合的に判断し、評価する。						
学習のアドバイス	1 授業で解説する例題をその場その場で理解する。 2 必ず家庭学習で復習を行い、課題を提出する。 3 基本的な演習問題を何度も解き直し、学習内容の定着を図る。						
その他	特になし						

